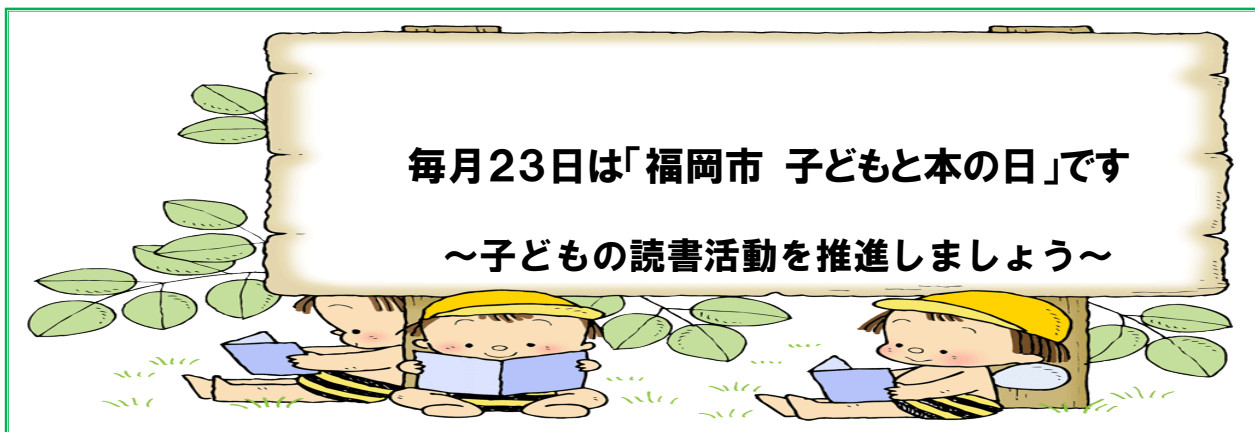




第28回 図書館を使った調べる学習コンクール

「図書館を使った調べる学習コンクール」をご存じでしょうか。図書館利用の促進と調べる学習の普及を目的に、公益財団法人図書館振興財団の主催で、1997年から行われ、本年度で、28回目を迎えます。

このコンクールは、公共図書館や学校図書館等を使い、身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなどを自由なテーマで、見る・聞くなどの体験や、実地調査なども取り入れながら、どのように調べていったのか、その結果、何がわかったか、をまとめたものを作品として応募する全国コンクールです。小学生、中学生、高校生、大人、子どもと大人、の各部門があり、どなたも自由に個人応募できます。

今日の学校教育において、調べる学習は、「知的好奇心」「多面的思考能力」「主体的な学び」等が養われる重要な学習の一つです。

図書館を使った調べる学習では、

- 1 テーマを決める
- 2 図書館で調べる（司書さんにも聞いてみよう）
- 3 もっと調べる
- 4 書いてまとめよう

という4つのステップを通して作品を作成していきます。

本年度の募集期間は9月9日（月）から10月7日（月）となっています。夏休みの自由研究などを活用し、挑戦してみてはいかがでしょうか。

また、図書館振興財団の「図書館を使った調べる学習コンクール」ホームページには、過去の入選作品186点が、学年別などで検索・閲覧できるようになっています。これらの入選作品は、テーマやタイトルのつけ方、調べ方、まとめ方等、今後の調べ学習や自由研究の参考になるものがたくさんあります。学校の先生方、保護者の皆様、そして、学習に取り組む子ども達には、機会があれば、見ていただきたいと思います。

<2023 年の小中学生の文部科学大臣賞テーマ>

「いもうとにえほんをつくりたい! あかちゃんといえほんのひみつ」 (小1)

「江戸時代 なぜ象は旅をした?」 (小4)

「消えたマアジを大捜査!! ～環境 DNA からマアジの痕跡を見つけ出せ～」 (小6)

「注目の新技術 iPS 細胞で絶滅危惧種を救いたい!」 (中2)



<7月24日 福岡市教育センター研修講座「読書活動」>

本年度も、福岡市の学校の先生方を対象とした研修講座が、佐賀女子短期大学 名誉教授 白根恵子先生を講師に迎え総合図書館で開催されました。

参加された小・中・特別支援学校の先生方は、熱心に白根先生のお話を聞かれていました。おそらく、それぞれの学校に持ち帰り、夏休みが終わり登校してきた子ども達への指導に活かしていただけるものと思います。

～ 白根先生のお話より ～

子ども達の読書力を高めるために

- ・ 適書を手渡そう
- ・ 本の面白さを手渡そう
- ・ 最適な方法で手渡そう
- ・ 心を込めて手渡そう
- ・ 子ども同士の紹介も効果的

今後も、各学校において、子ども達が本を読みたくなる環境を作って行きたいものです。

現行の学習指導要領では、児童生徒に、新しい社会を力強く生き抜くために育むべき力（資質・能力）として、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を三本柱として示しています。

さらに、教科・領域等を横断して発揮する資質・能力として「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」を学習の基盤となる資質・能力として示しています。

これら、学習指導要領に示されている資質・能力を育成するために、子どもの読書活動や調べる学習が、重要となっています。読書活動や調べ学習の経験を積み重ねていけば、着実に子ども達の学習の基盤の底上げにつながります。今後も、大人が意識して、子ども達が自ら進んで取り組む環境を作っていきたいものです。



<須藤>



9月のこととひと

9月1日「防災の日」

1923年の9月1日、関東大震災が発生した。関東地方をマグニチュード7.9の大地震が襲い、死者・行方不明者10万5000人、家屋全半壊25万戸、焼失家屋21万戸という大災害となった。この日を忘れることなく災害に備えようと、1960年に9月1日が「防災の日」として閣議決定された。

9月9日「九九(くく)の日」

日付の語呂合わせて制定される。算数の基礎である九九は、日常でもよく使うことから物事の基礎、基本としても捉えることができ、「もう一度、基礎、基本を見直して、初心に戻って物事に取り組んでもらう日」という想いを込めて制定された。

エドガー・ライス・バローズ

(1875.9.1～1950.3.19)

アメリカ合衆国生まれ。代表作はSF小説『火星のプリンセス』を始めとする火星シリーズ、『ターザン』などの冒険小説、ペルシダー・シリーズなどの秘境探検小説を作活動の初期から終期まで継続して書き継がれた。

オー・ヘンリー

(1862.9.11～1910.6.5)

アメリカ合衆国生まれ。主に掌編小説、短編小説を得意とし、約280の短編作品を残した。市民の哀歓を描き出した短編が多く、英米ではイギリスの小説家サキと並んで短編の名手と呼ばれる。映画化された作品は少なくない。『賢者の贈り物』は、有名である。

ミゲル・デ・セルバンテス

(1547.9.29～1616.4.23)

スペイン生まれ。近世スペインの小説家で世界的に名声を得たスペイン語圏による最初の文学者である。同時代人のシェイクスピアは『ドン・キホーテ』を読んでいたと言われている。

五木 寛之

(1932.9.30～)

福岡県八女郡生まれ。『さらばモスクワ愚連隊』でデビュー。『蒼ざめた馬を見よ』で直木賞を受賞。若者を中心に幅広い層にブームを巻き起こした。その後も『青春の門』をはじめベストセラーを多数発表。『大河の一滴』など仏教に関心を寄せた著作も多い。

図書館員のひみつの本棚 第 220 回

今月は日本一高い山、富士山についての本です。

『ふじさんにつぽんいち!』

ひさかたチャイルド 2022年 ¥1300(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★☆☆ 小低学年★★★ 小中学年★☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

日本一高い山、富士山について、色の不思議や、山の様子、その成り立ちまで、幼児からわかるように、大きなカラー写真と、わかりやすい図解、リズムカルな文章で紹介してくれます。

富士山を実際に見たことがある子も、そうでない子も楽しめる1冊です。

<子どもに手渡す時のポイント>

文章は大変わかりやすくなっていますが、子ども達が新しく発見することがたくさんある本なので、ぜひ大人と一緒に読んで、子ども達の知る喜びに共感してあげてください。また、それぞれのページに、大人用の簡単な解説もついているので、子どもが疑問に思う箇所、興味をもつ箇所があれば、その部分も読んであげて下さい。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。